

き か ん 紙

302号

1996.4.27

横浜室内合唱団発行

風が桜の花びらを散らし、春がそれだけ弱まってきました。色とりどりの花が咲きはじめました。体が楽になってきました。気温の変化に体がついて行けず、体調を崩す気候でもあります。健康の維持には気をつけて下さい。

今年の合唱団は、大変のんびりとしています。それというのも、コ-ラルフェストには出場せず、教会の催しのセンタ-祭は行われず、演奏会も開く予定はまだないからです。目標が無いといえないのですが、私にはうれしいことです。ゆったりと合唱を楽しめるからです。今年はこの状態を利用して、発声の充実やハ-モニ-の充実を図りたいと思います。発表の場は確かにないけれども来年の発表の下地をしっかりと作りたい。発表会に合せて追われながらの練習ではなく、ハ-モニ-を楽しむ要素を強くして、良く聞き合う姿勢を深めたいと思います。

できるだけ練習に出席して下さい。自分たちで作る合唱を聞いて楽しむことが目標です。伴奏のある曲でも、極力伴奏をはずして歌ってみて、曲全体を聞きましょう。伴奏があると楽ですが、また何か物足りない感じがしますが、声の美しさを味わえます。

練習予定

- 4月27日(土) 通常練習(17:00 ~ 18:50)
- 5月 4日(土) 練習無し...休日のため教会を借りられないため
 - 11日(土) 通常練習(17:00 ~ 18:50)...夕食会の予定
 - 18日(土) 通常練習(17:00 ~ 18:50)
 - 25日(土) 通常練習(17:00 ~ 18:50)
- 6月 1日(土) 通常練習(17:00 ~ 18:50)
 - 8日(土) 通常練習(17:00 ~ 18:50)...夕食会の予定
 - 15日(土) 通常練習(17:00 ~ 18:50)
 - 22日(土) 通常練習(17:00 ~ 18:50)
 - 29日(土) 通常練習(17:00 ~ 18:50)

練習の状況について

団の決定として、現在3曲(鳥の歌、太海にて、水のいのち)を練習していますが、「鳥の歌」は曲の輪郭が分かるようになって来ています。いちおう通して歌えるようにはなっています。所々言葉がついていかなかったり、音がとれなくなったりしますが、...。「太海にて」は「春のうた」「とんがり山」がほぼできてきていて、音とりと平行して細部をこれから作って行く段階でしょう。「水のいのち」では「雨」は音とりはできているといってよいでしょう。「水たまり」はまだ音とりの途中です。

高田三郎(作曲者)から小形洋子さんが聞いた話

小形洋子さんが高田三郎氏と会う機会があって、そのとき氏から質問されたそうです。「水たまり」の詩に「泥のまどい」とあるがこれはどういう意味なのか...と。そのときの

氏の説明は、…泥は人間であり、「まどい」は「団樂」を意味している。…ということだ
そうです。私は、私たちはといった方がよいかもしれませんが、この詩から「まどい」と
は「惑い」で「とまどうこと」と今まで解釈してきました。少なくとも私は二十数年間そ
う思ってきたこととなります。

広辞苑(岩波書店)より

まどい(円居, 団居) 人々が丸く並び座ること。親しく集まり合うこと。くるまざ。

団樂。

一所に集まり会すること。

今までこの意味は知りませんでした。辞書をひいたら確かにありました。今後、詩を
読みなおしてよく味わいたいと思います。